

請願第2号 教育委員会の市立諏訪幼稚園保護者に対する説明についての請願(写)

教育委員会の市立諏訪幼稚園保護者に対する説明についての請願

請願の趣旨

平成29年7月10日に、教育委員会学校教育部教育指導課及び子ども育成部保育運営課担当者と諏訪幼稚園を守る会関係者で、市立幼稚園の在り方に関する意見交換が諏訪幼稚園にて開催されました。

今まで、わたくしたち諏訪幼稚園に子どもを通園させている保護者は、施設配置適正化計画についての説明をうけていたにも関わらず、7月6日に事前配布された市立幼稚園の状況報告会資料には、「今後の予定として、市立幼稚園の閉園時期は公立保育園再編実施計画との整合性や、関係者、市議会等ご意見を踏まえ、改めて決定します。」と書かれてありました。また、平成28年10月に行われた説明会では、「(仮)中央子ども園開園時期を平成33年4月に予定している」との説明があり、この説明だと平成32年度末での諏訪幼稚園閉園ということになりますが、横須賀市ホームページ上では「平成28年9月現在、閉園時期は未定」とあります。このように、説明内容に食い違う点があることなどから、わたくしたち保護者としては、一体、閉園計画は何を基に話が進められているのか、どのような過程で進められているのかなどが明確にならない状況が続いています。そして、再三、事前資料の早い時期の配布をお願いしているにも関わらず週末を挟んだ四日前の木曜日であったことは、保護者側の意見をまとめる時間もなく有意義な意見交換会にする準備が整わず、諏訪幼稚園の閉園問題を軽く扱われているとしか考えざるを得ません。教育委員会側の「決定事項以外は回答できない。」という説明の内容は理解できましたが、「閉園ありき」が先行している現状に不安を抱いています。

意見交換会の翌日7月11日に諏訪幼稚園で行われた、未就園児を対象にした「お話し会・お楽しみ会」には、教育委員会の担当者の方が来ていたにもかかわらず、来園していた参加者への「市立幼稚園の在り方」に関する説明は何もなく帰られてしまいました。わたくしたち保護者が再三にわたってお願いしていた保護者（未就園児の保護者含む）に対する明確な説明がなかったことは大変残念に思います。

このように、わたくしたち保護者が教育委員会の対応に対しても不信感を抱いており、わたくしたちの意見が教育委員の皆様方に本当に届いているのかどうか不安に感じておりますことから、下記のように請願いたします。



請願項目

- 1.未就園児保護者、入園説明会に来ている保護者、母親学級に来ている保護者などに対して、市議会、教育委員会定例会等で決まった諏訪幼稚園に関する事柄、現在の諏訪幼稚園廃園に関する説明をその都度行うようお願いいたします。
- 2.新入園児が諏訪幼稚園を卒園するまで園を閉園にしないことをお願いいたします。
- 3.意見交換会を開く際には、事前資料を早い時期に配布してくださいますようお願いいたします。
- 4.子ども園中心の話し合いではなく、諏訪幼稚園を主軸に考えて閉園時期を決め、閉園までの間の予算の確保・教員の資質向上・教育の充実の確約をお願いいたします。
- 5.以前、横須賀市教育委員会と諏訪幼稚園問題協議会で交わした「確認書」は現在どのような扱いになっているのかを再度確認していただきたいと思います。確認書のことも踏まえ、結局はどのような条件のもと諏訪幼稚園の廃園が決定されるのかを明確にしてくださいますようお願いいたします。

平成 29 年 8 月 2 日

横須賀市教育委員会

教育長

新倉 聰様

委員

荒川 由美子様

委員

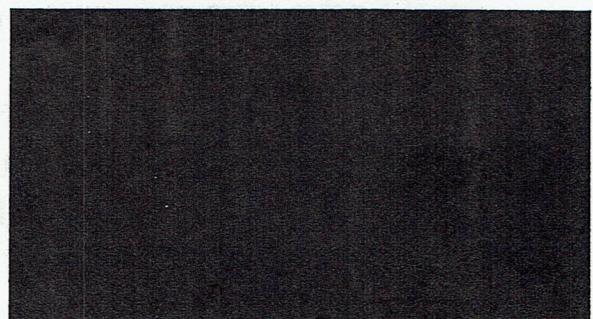
三浦 淳太郎様

委員

小柳 茂秀様

委員

澤田 真弓様



横須賀市民憲章

私たちの横須賀は、海と緑に恵まれた自然と世界に開かれた交流の歴史のもとで、魅力ある都市をめざし、常に新しいまちづくりに挑戦する気概を身につけてきました。

21世紀を迎える、私たちは中核市としての新たな出発を機に新しい時代の先駆けとしての意欲を持ち、市民、企業、行政が共に手を携え、郷土の歴史と文化を尊重し、さらに魅力あるまちづくりをすすめるためにこの憲章を定めます。

- 1 すべての国々や人々との交流を深め、国際社会に貢献します。
- 2 海と緑の豊かな自然を守り、うるおいと活気のあるまちをつくります。
- 3 子どもが健やかに育ち、だれもが生きがいを持てるまちをめざします。
- 4 お互いに助け合い、すべての人々が安心して生活できる地域社会を築きます。
- 5 災害に強い、安全で暮らしやすいまちを実現します。

(平成13年12月18日議決)

諏訪幼稚園の在り方についての意見書
(教育委員会の市立諏訪幼稚園保護者に対する説明についての請願の補足説明)

諏訪幼稚園は、閉園するとされながらも、閉園時期は決まっていない現状です。また、いつ閉園するにせよ、その日を迎えるまでは在園児のために、市、教育委員会、幼稚園教職員が幼稚園運営に全力投球するのは当然のことです。さらに言えば、昨日より今日、今日より明日に向けて、より良い教育保育を目指すべきだと思います。

諏訪幼稚園には、「元気で明るい子」「思いやりがあつてよく遊べる子」「思ったことをはつきり言える子」という3つの教育目標がありますが、この幼稚園が、市立幼稚園という市民の財産であることからも、市民憲章に照らした幼稚園の在り方についても明確にし、存在する以上はできる限り大切にすべきと考えます。

以下、市民憲章に照らして5項目を記載します。(市民憲章は別途添付)

記

- 1 国際交流を日常的に取り入れている、市立諏訪幼稚園の教育を再認識すること。
- 2 市立諏訪幼稚園は商業地区にありながら、近隣の三笠公園、ヴェルニー公園にて身近な自然に触れる園外活動を行い、また、近隣町内会との交流を行うなど、活気あるまちづくりの実践となっていることを再認識すること。
- 3 市立諏訪幼稚園は子どもが健やかに育つよう、定員を超えない限り、入園希望者全てを受け入れており、園児の中には、ひまわり園通園児が在園していることを再認識すること。
- 4 思いやりを持つことを園児目標に掲げ、お互いに助け合い、すべての人々が安心して生活できる地域社会の構築を担っている幼稚園であることを再認識すること。
- 5 市立諏訪幼稚園は耐震化を理由に建て直し、2012年度に完工した災害に強い建物であることを再認識すること。

以上、意見を提出する。
横須賀市教育委員会委員 殿

平成29年8月2日

